



# 渋谷本町学園だより

令和3年2月5日発行 NO.11

渋谷区立渋谷本町学園

校長 斉藤 茂好

TEL 3373-3201

★HPアドレス★

<http://shibuya.schoolweb.ne.jp/shg>

## Social Distance

校長 斉藤 茂好

緊急事態宣言が3月7日まで延長となりました。本校では、様々な感染予防対策を続けておりますが、児童・生徒、そして保護者の皆様もたいへん協力的で、おかげ様で毎日教育活動を続けられています。特に児童・生徒には行事の変更などが多い1年となっておりますが、それでも毎日笑顔で登校してくる子供たちを見ていると、早く制限なく活動ができる日が来ることを願うばかりです。

さて、「ソーシャルディスタンス」という言葉が繰り返されています。コロナ感染予防上、いたし方ありません。一方では、密を避けるということは、いわゆる人間関係を粗にすることになります。このスタイルが意識されて定着していくと、親戚や近隣、職場での温かい関係は今以上に薄れていきます。リモートの関係を経験した後の人間社会がクールであることは想像が付きませんが、それは社会と言えるのでしょうか。社会を維持する根本は信頼ですが、その距離はどのようなものなのでしょう。

他者への信頼は、視覚と聴覚だけではなく、嗅覚とか味覚とか触覚の感覚も使って築くものだそうです。リモートの関係は視覚と聴覚だけです。ネットで炎上が起こるのは、信頼という関係が築かれないからと考えると納得することができます。ネットによる関係は視覚と聴覚ですから、お互いに頭で理解ができるので、分かり合えたと脳が錯覚します。しかし、それだけでは信頼には至りません。その他の嗅覚、味覚、触覚が揃ったいわゆる五感によって、信頼するように導かれるのです。食事を共にしたり触れ合ったりといった直接的な肌の触覚が他者の温もりを受け取って、信頼が醸し出されてくるのです。

頭の理解による関係が社会であるというのなら、「ソーシャルディスタンス」という関係で事足りることでしょう。しかし、それは信頼を伴っていません。そこで疑い深くなり、監視カメラによる用心が不可欠になります。ネット使ったの関係は、個人情報や微に入り細に入り把握しないと不安な社会でしかありません。信頼に足る情報は五感で掴むしかないので、情報社会を築いてきましたが、そこは信頼を欠いたものであるということ、コロナ禍が教えてくれます。人を見たらコロナと思うという浅ましさ蔓延っています。子供たちが五感を働かせて、様々な体験を通して成長する「日常」が戻ることを願って、もうしばらく我慢の時間が続きます。

**★2月13日(土)「しぶやタブレットの日」★** ※今回は、非公開となりますことをご了承ください。

9月から新タブレットが導入され、子供たちも操作やソフトウェア、アプリケーションに慣れてきたころではないでしょうか。私たち教員も現在は、授業でより効果的に使えるソフトウェアなどについて、日々勉強しているところです。

さて、本校では2月13日(土)に「しぶやタブレットの日」を行います。これは、渋谷区立の全小中学校で行われており、授業のねらいに沿って、タブレット(ソフトウェア)を活用し、操作はもちろんのこと、プレゼンテーション能力、プログラミング的思考など、様々な力を身に付けていくためのものとなっています。この日に限らず、日頃の授業でも、タブレットは使用していますが、全教員が1時間必ずタブレットを使用した授業を行うというものです。「どういった目的で使用するか」「どの場面で使用するか」「何のソフトウェアを使用するか」を吟味し、子供たちの深い学びにつながるよう工夫していきたいと思っております。当日の様子は、ホームページ等でお知らせいたします。ぜひご覧ください。

# 行事予定

( ) : 学年・学級

月	火	水	木	金	土/日
2月8日 個人面談始(F)	9日 個人面談終(E)	10日 体育集会(小)	11日 <b>建国記念の日</b>	12日 個人面談終(F)	13日 土曜授業日 しゅやタブレットの日
			鼓笛隊移杖式(小) 新入生説明会(中)		14日
15日 小朝会 プログラミング授業(5)	16日 校外学習(6) プログラミング授業(3)	17日 音楽集会(小)	18日	19日 クラブ活動(4-6)	20日 21日
22日	23日 <b>天皇誕生日</b>	24日 学年末考査(中) 特別時程・4時間 授業(小)	25日 学年末考査(中)	26日 学年末考査(中)	27日 28日
3月1日	2日 児童集会(小)	3日 6年生を 送る会(小)	4日 球技大会(中)	5日 委員会活動(5-9) B時程(中)	6日 7日

★緊急事態宣言延長のため、3月1日に予定していた小学校保護者会は延期とさせていただきます。

3月8日(月) …3・4年    11日(木) …5・6年・E組    12日(金) …1・2年

★感染症対策のため、行事が変更になる場合があります。★予告なしの避難訓練を行うことがあります。

### \*\*\* 2月の生活目標 \*\*\*

#### 「健康に気を付けよう」

生活指導部    横山 あゆみ

日頃から「規則正しい食生活を送ること  
で健康に過ごせる。」ということは分か  
っていますが、その健康的な食生活習慣  
を継続して行うことができているかとい  
うと、「多少は実行できている。」とい  
う人は多いと思います。

健康的な生活を送るために必要なこと  
は、「運動」・「栄養」・「休養と睡眠」・「リ  
ズムのある生活」・「衛生的な習慣」など  
を身に付けることによって、健康的な生  
活を送ることができます。

また、気温が低く空気が乾燥する冬場  
は感染症が流行しやすい時期でもありま  
す。引き続き感染症予防として

- ①3密を避ける    ②外出後や食事前、ト  
イレ後の手洗い    ③マスクの着用    ④換  
気、部屋の湿度    ⑤毎日の検温、健康観  
察など に気を付けましょう。

上記の対策は、新型コロナウイルスに  
限らず、他の感染症予防対策としても有  
効です。改めて、保護者の皆様におかれ  
ましても、ご家庭での感染症予防対策を  
お願いいたします。

### ホップ ステップ ジャンプ

#### 「成功体験への一歩」

特別支援教育コーディネーター 作田 美千子

子供が「どうせできない」といってすぐに諦めてしまったり、  
「大変だ」「めんどくさい」と言ってやろうとしなかったりす  
ると、前向きな考えをもってくれないと思ったことはありません  
か。

これらを解決するための一つに、成功体験を積むということ  
が挙げられます。成功体験とは、自分がこれまで体験してきた  
ことの中で成功してきたことを意味します。この成功体験を積  
むことで自信がもてるようになり、自己肯定感が高まります。

とは言うものの、小中学生の学年齢では、成功体験どころか、  
まだ経験すらしてない……どうすればよいか、ということが悩  
ましいところです。確かに「英検〇級合格」を目標に掲げるな  
ら、合格しなければ成功になりません。しかし、「英単語を10  
個覚えた」「自分で英文を作れた」「英語での会話が2往復でき  
た」など、その子にとってのハードルを少し下げると、でき  
たこと、成功したことが増えるはずです。

大切なのは、近くにいる大人たちが一つ一つ言葉にして褒め  
てあげることです。これが子供にとっての成功体験の一つにな  
ります。「自分から勉強をした」「宿題を一人でやり遂げた」な  
ど、当たり前なことを当たり前にするのは、簡単なようで簡  
単ではありません。得意なことをうまくやること、成功するこ  
とも当たり前ではありません。「すごいね」「さすがだね」と声  
かけをして、成功体験として子供たちに積ませてあげること  
が、子供の心を前向きにさせるのです。自己肯定感を高めるの  
は、周囲の大人たちの声かけにあると思います。ぜひやってみ  
てください。